

平成30年10月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成30年10月26日（金）午後1時30分～午後4時15分

2 場 所 市役所6階 602会議室

3 出席者〔教育長〕内藤隆行

〔委 員〕大岩幹夫(教育長職務代理者)、吉本理、中川奈緒美、
寺本彰、清水国明

〔事務局〕美甘寿規教育総務部長、岩間健一学校教育部長、師岡林教育
総務部次長、戸村達男学校教育部次長兼学校教育課長、千葉
裕之教育総務担当参事兼教育総務課長、木村立彦文化財保護
担当参事兼文化財保護課長、池田隆人保健給食担当参事兼保
健給食課長、森田幸夫教育施設課長、稲田里織社会教育課長、
海老沢康子スポーツ振興課長、倉富恵理子生涯学習推進セン
ター所長、中村まさみ所沢図書館長、原雅一教育センター副
所長

〔書 記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主任

4 前回、前々回会議録の承認

5 会議の傍聴者 4名

6 開 会

開会に先立ち、美甘教育総務部長から、平成30年10月4日開催の所沢市議会第3回定例会において、清水国明委員の再任について議会の同意があり、10月5日付けで藤本市長より教育委員会委員として任命された旨の報告がなされた。

清水国明委員より挨拶。

議事に先立ち、本日の協議事項 「小・中学校へのエアコン設置について」に関連して、千葉教育総務担当参事より下記の2点が報告された。

(1)教育委員会会議8月定例会会議録の公開について

8月定例会では、「市内小中学校暑さ対策としてのエアコン設置について」ご協議いただいたが、行政内部における政策決定過程であり、自

由かつ率直な意見の交換を行う必要から、非公開で協議を行った。そのなかで、「『市内小・中学校へのエアコン設置』に対する基本方針」を決定し、教育委員会会議としての方向性を定めた。また併せて、市議会第3回定例会における冒頭あいさつの中で、市長が「空調設備を設置すること」、「2020年度までに一気に設置できるよう努めていくこと」を表明した。通常、非公開案件の会議録については、所沢市のホームページに掲載する場合にも、該当部分を非公開としているが、エアコン設置について上記のとおり政策決定がなされたため、8月定例会会議録については、ホームページに掲載する際に、非公開協議部分も含めて全て公開とする。

(2)教育委員会会議9月定例会以降の経過について

前回9月定例会では、市議会第2回定例会で採択された請願について、エアコン設置に対する基本方針をもとに、

- ・今後、小中学校の普通教室等を対象に、速やかにエアコンの設置に努めていくこと
- ・財政面を含め関係部局と連携し、その方策を検討していくこと

を市議会に回答した旨の報告を行った。

その後、教育委員会事務局だけではなく、全庁的に取り組む必要があることから、10月1日付で副市長を委員長とし、関係部長を委員とする「所沢市小中学校エアコン設置実施計画策定委員会」、および関係所属長を構成員とする「調整会議」を設置した。10月5日には、策定委員会および調整会議の合同会議をキックオフミーティングとして開催し、これまでの経緯や現在の進捗状況、今後の方向性について情報共有を行い、2020年度までに市内小中学校普通教室等にエアコンを設置するための実施計画の策定を進めている。

以上の報告を行い、特に質疑はなく了承された。

本日の議案は、議案第24号から議案第26号の3件。

なお、議案第25号及び26号は予算に関する審議のため、また、協議事項は、エアコン設置に向けた整備方式案や予算など政策決定過程の審議のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第 2 4 号 所沢市スポーツ推進委員の委嘱について

資料に則り、海老沢スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

所沢市スポーツ推進委員の委嘱については、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を持ち、熱意と能力を有する方々を各地区からご推薦いただいている。

このたび、欠員となっていた吾妻地区より、活発にスポーツ活動を行い、スポーツの指導、推進に熱意のある 2 名の推薦がありましたので、「所沢市スポーツ推進委員に関する規則」第 3 条に基づき、委嘱してよろしいか本会議にお諮りするものである。任期については、平成 3 0 年 1 1 月 1 日から平成 3 2 年 3 月 3 1 日までである。

なお、今回の推薦により欠員のある地区は 1 地区となり、現在、推薦依頼をしており、推薦書が提出され次第、順次本会にお諮りする。

質疑なし。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

《傍聴者退室》

議案第 2 5 号 平成 3 0 年度教育委員会予算（1 2 月補正）について(非公開)

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第 2 6 号 平成 3 1 年度教育委員会当初予算について(非公開)

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 協議事項

小・中学校へのエアコン設置について(非公開)

《削除》

《休 憩 午後 3 時 2 5 分～午後 3 時 4 5 分》

所沢市生涯学習推進指針（案）について

資料に則り、倉富生涯学習推進センター所長より、以下のとおり説明がなされた。

平成23年に策定した第4次所沢市生涯学習推進計画が、平成30年度で終了することに伴い、今後は計画の策定に代わり、生涯学習推進に係る基本的な考え方・方向性を示す「所沢市生涯学習推進指針」の策定を進めている。この指針は、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができるという、生涯学習の理念に基づき、市民の学習活動を支援し、学習者同士をつなげ、その学習の成果を生きがいづくりや、地域活動に結び付けていくことを支援していくものである。

資料5ページの生涯学習推進の体系図にあるとおり、所沢市の生涯学習が目指す将来像のテーマを「豊かな学びが支える持続可能な社会」とし、指針の基本理念としては、

- ・豊かな人格形成と心豊かな人生を送るための生涯学習活動を支援する。
- ・生涯学習を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する
- ・地域の資源を活用し、市民のふるさと所沢を愛する心を育む

の3点とし、実現に向けての取り組みとして、

- ・〈学ぶ〉学びを支える
- ・〈活かす〉学びの成果の活用を支える
- ・〈つなぐ〉学びの輪（絆）をひろげる

の3つの指針を示しました。なお、「実現に向けての取り組み」については、取り組み事例を記載して、イメージしやすいようにした。

また、この指針（案）については、11月1日から11月16日まで、パブリックコメントを実施し、広く市民から意見を頂くことも予定している。

以下、質疑。

（寺本委員）

自治体によっては、技術や資格を取得するための講座を無料で開催していますが、そのように高齢になっても社会参加できるような機会が提供できると良いと思います。また、講座を開催していても、伝わらなければ効果がないので、声かけをどのように工夫して行っていくかも大切だと思います。

（中川委員）

資料8ページに、学びの成果を活用できる場の提供という項目がありますが、ふるさとの良さを伝えるという意味で、観光コンシェルジュについて記述があると良いと感じました。

(清水委員)

昨今の状況としては、終活や人とのつながりという分野に、後半の生涯学習のニーズがあると感じます。ニーズを捉え、世の中が今必要としているものをこちらから提供していくことが求められていると思います。

(中川委員)

所沢のことを知りたいと思っている人は、市外に住んでいる方の中にもいると思います。生涯学習を通じて、そのような方を惹きつける方法はあるでしょうか。

(倉富生涯学習推進センター所長)

市のことを知ってもらうという意味では、所沢市の市史の概要版をホームページに掲載しているので、当市について知っていただけるきっかけになると思います。

先ほど、清水委員から「人とのつながり」というお話がありましたが、この指針を作成する過程において、生涯学習推進本部で話し合いが持たれた際にも、地域で活躍する人をどう育てるか、人と人をつなげるためには、つなげる人を育てることが必要だ、という意見が出ました。人と人を繋げていきましょうというのも、この指針の役割だと考えています。

(内藤教育長)

他に意見等がありますか。

《意見等なし》

(内藤教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしく申し上げます。

第2次所沢市図書館ビジョンについて

資料に則り、中村所沢図書館長より、以下のとおり説明がなされた。

図書館運営の基本的な方針として、目指すべき方向性を定めた「所沢市図書館ビジョン」の第1次計画期間が平成30年度に終了することに伴い「第2次所沢市図書館ビジョン」策定の事務を進めている。このたび素案が完成したため、ご協議をお願いするものである。

本ビジョンについては、「図書館法」第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」において、基本的運営方針の策定や目標の設定などが努力義務として定められていることから、策定をするものがある。策定にあたっては、

市の上位計画である「総合計画」「教育振興基本計画」と整合性を図りながら進めてきた。

計画期間は6年間とし、施策の体系は資料42ページにある図のとおりであるが、基本理念および基本方針は、所沢図書館としては普遍的なものと考え、第1次ビジョンを引継ぎ同じものとなっている。基本方針を支える5つの基本目標は、暮らし、学び、読書、地域、未来を支えるとした。

第2次ビジョンの特徴として、これまでの社会情勢等の変化、成果と課題などを踏まえ、第1次とは基本目標の立て方を変え、事業施策のグループ分けも変更した。

大きく変更した部分としては、新たに「読書を支える＝読書活動の推進」を目標の一つとして掲げたことである。これまで全年齢に対する読書活動は、図書館機能の一つと捉えていたが、人生100年時代といわれる中で、学びを支え豊かな人生を過ごしていただくためにも、より一層積極的に推進してまいりたいと考え、目標のひとつとして位置づけることとした。

また、事業施策を推進するためには、図書館の根幹となる機能を強化していくことが必要と考え、効率性、専門性、安全性に関わる4つの項目を掲げ、推進に向けた運営施策として、新たに設けた。

資料50ページからの【第6章】では、基本目標に沿った事業施策を掲載し、66ページからの【第7章】では、全ての施策を推進するための運営の施策について掲載している。

今後の予定は、12月1日から12月20日までの期間でパブリックコメントを実施して、市民の方からご意見をいただき、計画の発行については、平成31年3月を予定している。

以下、質疑。

(寺本委員)

資料34ページの市民アンケート調査(高校生)についてですが、所沢市の図書館を「利用したことがない」とする生徒が7割以上となっていることに関して、どのように分析していますか。

(中村所沢図書館長)

所沢市内の県立高校に通う生徒を調査対象としているため、市外在住者の割合が

高くなっています。そのため、所沢市内の図書館は利用したことがないという方が多いと考えています。また、この年代の読書離れが進んでいるということも理由として挙げられます。

(寺本委員)

資料7ページに、図書館の取組として、デジタルコンテンツの作成・収集が挙げられていますが、図書館の職員だけではなく、一般の方にボランティアで手伝っていただくということではできないでしょうか。

(中村所沢図書館長)

図書館資料のデジタル化を図る際には、著作権法との兼ね合いもあるため、一般のボランティアの方だけに作業をお願いすることは難しい状況があります。著作権法上の課題をクリアした段階で、可能であれば、ボランティアの方にご協力いただきたいと考えています。

(寺本委員)

それを積極的に広げれば、定年退職した方で、ITのスキルを持っている方に手伝っていただいたりもできるので、良いことだと思います。

(内藤教育長)

他に意見等がありますか。

《意見等なし》

(内藤教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願いします。

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について(教育総務課)

所沢市教育委員会の10月から1月までの主な行事予定について

(教育総務課)

「所沢市議会一般質問答弁要旨 平成30年第3回(9月)定例会」について

(教育総務課)

所沢市文化財展について(文化財保護課)

第19回所沢図書館まつりについて(所沢図書館)

食育フォーラムの開催について(保健給食課)

10 その他

市内中学校に関する報告について

資料に則り、戸村学校教育部次長より、以下のとおり説明がなされた。

所沢市立南陵中学校において、「子どもたちの命を守るための教育プログラム」を作成したため報告するものである。このプログラムは、いわゆる南陵中学校の改革プログラムである。子どもたちの心に寄り添った教育相談を進め、子どもたちのSOSを察知していく取り組みや、自分や他者の命を大切にすることを育成する取り組み、新たな部活動の展開などについてまとめたものとなっている。

この改革案は、すでに南陵中学校保護者へ学校だよりといっしょに配布するとともに、学区である南小学校、北秋津小学校の保護者にも配布済みである。教育委員会としても、この改革案の実現に向け、南陵中学校を引き続き支援していく。

以下、質疑。

(吉本委員)

説明にあった「新たな部活動の展開」について、進捗を教えてください。

(戸村学校教育部次長)

新たな文化部の新設に向けて、現在学校で検討を進めているところです。

平成30年度市町村教育委員会研究協議会に関する報告について

上記協議会に出席した中川委員より、下記のとおり報告がなされた。

上智大学・那須教授による基調講演に感銘を受けたため、概要を紹介する。

- ・学力の観点が変わってきている。これまでのように、どのくらい知っているのかという知識の量を問うものではなく、資質・能力・やる気・社会的スキルが学力の基準として持ち上がってきている。
- ・学力の観点が変わってきていても、これまでの教育を否定するものではない。マニュアルなどに当てはめてやっていくことは難しく、自分達で工夫していくものだが、幸い日本の学校教育では、特別活動や給食、掃除の時間のような形のない教育活動の中で、それが既に実践されているので、自信を持って良い。
- ・マシュマロテストについて

知識をたくさん持っている人が幸せになっているかというと、どうもそ

うではないらしいということが分かってきた。その代わりになってきた指標の一つとして、自分を抑制する力、コントロールする力が挙げられる。

目の前にあるマシュマロ1個を15分間食べずに待てたら、マシュマロを2個もらえるという実験を4才児に対して行った結果、3分の1の子が我慢できた。その実験の追跡調査を行ったところ、我慢できた子は、身体的精神的に健康で、社会的適応力があり、問題行動がなく、高水準で幸せな大人になっているという結果が出て、改めて我慢をすることが大事だということが分かった。

我慢をするというと、大変なことを強いるというイメージがあるが、子どもなりにスキルを駆使しており、例えば、「マシュマロを作り物だと思い込む」、「見ないようにする」など知恵を働かせて我慢していた。生きる力とは、耐え忍ぶ力というよりも、自分の中で考えて、どうやったら上手くいくだろうかと工夫できる力であり、そのような力を養うことが、結果的に我慢する力に繋がっている。

- ・教育委員会や大人が、のびのびとクリエイティブな様子を見せて、子どもたちの見本になるべきである。大人は、完全無欠である必要はなく、失敗を見せることも見本になる。そうでなければ、子どもたちに「失敗してもいいんだよ」と言えない。

- ・教育委員会会議 11月定例会：11月19日（月）午後3時30分

教育センター 第1研修室

- ・平成30年度所沢市教育功労者表彰式：11月19日（月）午後1時30分

教育センター セミナーホール

- ・教育委員会会議 12月定例会：12月21日（金）午後1時30分

所沢市役所6階 602会議室

- ・教育委員会会議 1月定例会：1月23日（水）午後1時

教育センター 第1研修室

- ・教育懇談会：1月23日（水）午後3時

教育センター セミナーホール

11 閉 会 午後4時15分